

2027年度（令和9年度）

学生募集要項

学校推薦型選抜

☐ 公募制

☐ 指定校制



桜美林大学
J. F. Oberlin University

●この冊子の情報は2026年7月1日現在の情報に基づくもので、その後変更になる場合がありますので、最新情報は本学Webサイトで確認してください。

●選抜方式によっては募集のない学群・専修・専攻等がありますので、各選抜方式のページで募集する学群等を必ず確認してください。

目 次

I	入試概要	4
1	桜美林大学のアドミッションポリシー（学生の受入れ方針）	4
2	学群別アドミッションポリシー（学生の受入れ方針）	5
3	学校推薦型選抜 各選抜方法	8
4	出願から入学手続までの流れ	10
II	募集内容・出願資格	12
1	募集学群・募集人員・選抜方法	12
2	出願資格	14
3	課題図書	14
4	学校推薦型選抜	16
	A 公募制	18
	B 指定校制	23
	C 指定校制（航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コース）	26
5	グローバル・コミュニケーション学群の審査方法	29
6	芸術文化学群の審査方法	31
III	出願手続	35
1	出願上の注意事項	35
2	検定料について	36
3	受験票	36
4	試験当日の注意事項	36
5	受験時および修学時に特別な配慮や支援が必要な方	37
6	出願書類の作成における生成AIの利用について	37
IV	合否照会・入学手続	39
1	合否照会・合格通知	39
2	入学手続等（学納金の納入について）	39
3	入学後の渡航に関する注意事項	40
4	学納金	40

V	その他	42
1	個人情報の取り扱いについて	42
2	入学前教育のご案内	42
3	奨学金制度	42
4	入学後に主に通うキャンパスについて	43

出願様式

I 入試概要

1 桜美林大学のアドミッションポリシー（学生の受入れ方針）

1. 輩出する学生像

桜美林学園のミッションは、キリスト教の精神を礎とし、教育や研究において誠実に真理を求め、隣人を思いやる心を持って、仕えることのできる人材を大学での学びと経験を通じて世に送り出すことです。

1921年5月に中国・北京から始まった学園の歴史的な観点を鑑みてもグローバル社会での活躍に必要な不可欠な外国語運用能力、多様な文化的背景を持つ人々とともに生きる力を全ての学生に身につけさせます。

さらに予測不可能な様々な社会問題を解決に導くことのできる教養を高め、これからの社会を担う人材を輩出することにあります。

2. 求める入学者

本学は、このミッションに共感し、本学の教育システムの特長である学群制の中で、自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に興味関心が持てる学生等であることを期待します。

また、主体的に学び、経験を積む姿勢、国や地域を越えて異なる価値観を持つ人たちとコミュニケーションができる力を持つ学生等を国や地域を問わず幅広く求めます。

3. 入学までに身につけて欲しい能力と選抜方法

入学を希望する学生等には、以下の3点を身につけて入学してくることを求めます。

なお、選抜方法は、学群の特性も踏まえ、多様な入学者選抜制度を駆使して多角的に評価します。

①高等学校の学習指導要領に基づく学習範囲の知識・技能を修得していること。

（海外からの応募者はそれぞれの国や地域の高等学校までの課程を修了していること）

②高等学校までの学習や諸活動を通じて、様々な課題や困難に向き合い、その解決のために試行錯誤を繰り返す中で身につけた「思考力、判断力、表現力」があること。

③高等学校までの学習、部活動や外部のコミュニティ活動での共生、協働を通して、主体性や積極性を持って、チーム等で目標や課題に取り組んできた経験を有すること。

4. 入学者選抜の基本方針

「キリスト教精神を礎として、教育を通してグローバルな社会に貢献する人を育成する」ことが桜美林学園の建学の理念です。

また、学園の行動指針である「学而事人（がくじじじん）」（学んだことを人や社会のために役立てる）の精神を受け継ぎ、学園から巣立った後、困難な課題にも立ち向かい社会で活躍することが期待されています。

これからの社会に、「グローバルな人材」「『学而事人』の精神を受け継ぐ人材」を輩出しようとする本学は、教育システムの特長である学群制の中で、自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に興味関心を持てる学生等であることを期待しています。

そして、主体的に学び、経験を積み、国や地域を越えて異なる価値観を持つ人たちとコミュニケーションができる力を持つ学生等を国や地域を問わず幅広く求めます。

2 学群別アドミッションポリシー（学生の受入れ方針）

リベラルアーツ学群

リベラルアーツ学群は、多文化理解を推し進め、一つの専門性だけにとらわれない学際的思考を駆使し、優れた分析・表現力をもって学問を通じた社会貢献を行う、国際性を有した「自立した学習者」(Independent Learner)を育成していきます。また、興味・関心や社会文化的背景の異なる多様な学生が集い、学び、知的刺激を与え合える教育の機会を提供します。そのため、本学群の学びは、幅広い学問に触れると同時に、本人の関心に応じて人文学、社会科学、自然科学のいずれかをより深く学び、掘って立つ足場、すなわち学問的基礎を修得することからはじまります。学生は、学問的基礎の修得を続けて各分野の専門性を深め、分析・表現力を養うと同時に、他の専門分野に対する理解や専門横断的な知見、俯瞰的な視野をあわせもち、一つの専門の枠にとらわれない自由な学際的思考を身につけていきます。加えて、学生は、留学やサービ斯拉ーニングなどの体験を通して、自らが深い興味関心を抱いた事柄や、関わりを持ったコミュニティや社会の課題と向き合い、国際性や多様な文化を理解する力、学問を通じた社会貢献ができる力を身につけます。以上の学修や経験を通して、未来を予測することが困難な時代の中で生きる力を養います。

【求める学生像】

学群の教育システムに共感し、学修や経験を通して、成長を望み、これからの時代に自らの学びと経験を以て、貢献しようとする人たちを国や地域を問わず求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- ①高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
- ②自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- ③広い分野の基礎的学力を持ち、人文学、社会科学、自然科学の領域・専門分野への強い関心を有する者
- ④新しい分野への探求心と新たな体験へ挑戦する意欲を有する者
- ⑤建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

グローバル・コミュニケーション学群

グローバル化が加速する今日の社会において、高度な外国語コミュニケーション能力を基盤として、自らが関わるコミュニティの様々な課題に向き合い、積極的に課題解決に取り組むことのできる人材が必要とされています。

グローバル・コミュニケーション学群では、その基礎となる高度な外国語運用能力を修得し、グローバル化した社会で増えている多文化が共存するコミュニティをよりよく機能させるために必要な専門知識を学びます。真の多文化共生社会を実現する過程で直面する問題や課題に対し、多角的な視野と専門知識をもとに思考と分析を行い、言語の壁を超えた高いコミュニケーション能力を生かして、コミュニティにおいて欠かせない存在として、課題解決に向け、共同作業の中で自己の役割を堅実に果たせる人材を育成します。

【求める学生像】

学群の教育理念に共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域、背景を問わず求めます。

また、ここでの学びを始めようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- ①高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者（特に外国語運用能力）
- ②自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- ③世界の国・地域および自国に対して強い関心を有する者
- ④グローバル社会において積極的に学修や経験に挑戦する意欲を有し、多文化共生実現に強い関心と意欲を有する者
- ⑤建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

ビジネスマネジメント学群

「国際性」に優れ、「奉仕の精神」と「おもてなしの心」、「コミュニケーション能力」と「情報リテラシー」を兼ね備えた人材を育成します。

さらに、所属する企業や各種機関、コミュニティにおいて、予測不可能な様々な課題に向き合い、「マネジメント能力」を駆使して、積極的に課題解決に取り組むことのできる力を身につけさせます。

特に、学修過程においては、理論と実践のバランスのとれた「マネジメント能力」を養うためにインターンシップ等の実習体験を積極的に展開していきます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちが国や地域を問わず求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- ①高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
- ②自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- ③社会の出来事、国や地域、企業などの取り組みに強い関心を有する者
- ④社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者
- ⑤建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

健康福祉学群

少子高齢社会や多様で高度な福祉ニーズに対応できる、健康と福祉のプロフェッショナル育成を目的としています。専門職として活躍するためには、乳幼児から高齢者までの人間の成長、発達や生活に関心を持ち、一つの専門領域にとどまらず、広い範囲の知識や技術を身につけ、多角的な観点から総合的にものごとを考える力が必要となります。

グローバル社会においては、多様性の尊重は基本理念であり、人々の願い、悩み、喜びに共感できる人間性を備え、様々な立場の人を理解し、受け入れ、共生社会の実現に貢献する実践家であることが期待されます。

そこで、学群に、「健康・スポーツ領域」「福祉・心理領域」「保育領域」の3つの学問領域、6つの専攻（健康科学・スポーツ科学・社会福祉学・精神保健福祉学・実践心理学・保育学）を配置し、マイナープログラムと併せて、自らが興味関心を抱いた専門的な学びを深めるとともに、関連領域にも学びを発展させます。

4年間の学生生活では、知識・理解を深める学びにとどまらず、体験的・実践的な学びを積み重ねることにより、社会の課題を解決する実践力を身につけます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- ①高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
- ②自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- ③人々の健康、こころ、からだ、福祉に強い関心を有する者
- ④社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者
- ⑤建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

芸術文化学群

芸術の創り手として作品やパフォーマンスを提供する人材のみならず、幅広い芸術活動を通じて社会の発展に寄与する人材は、人間文明の初期から現在まで変わらずに必要不可欠な存在です。特に時代の変換点に立つ現代社会では、様々な創作活動の中で行われる試行錯誤を通して、そのプロセスに潜在する「予測困難な問題」を見つけ出し、さらにはその問題を解決に導くことの出来る人材が必要とされています。

本学群では、「演劇・ダンス」「音楽」「ビジュアル・アーツ」というそれぞれの領域において、人間の営みと密接な関わりを持つこのような芸術文化を理解し、その理論や歴史、表現を学ぶことで社会を構成する自分自身と多様な他者をより深く探求して共に生きる力を身につけようとする学生を求めます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域を問わず求めます。また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- ①高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
- ②創作活動や芸術鑑賞を通して、芸術の学術的な学びに求められる意欲と関心を有する者
- ③自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- ④芸術、文化、人間、表現、コミュニケーション等に強い関心を持ち、創作活動やアートマネジメント等に積極的に挑戦する意欲を有する者
- ⑤建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

教育探究科学群

本学群は、ディプロマ・ポリシーへの到達によって、生涯を通じて営まれる種々の教育的活動を通じ、自らの探究心と好奇心をもとに社会を改善していく者の育成を目指しています。卒業後に所属する組織や企業においては、教育学的指向と探究科学の手法を活かし、人、物事、アイデア、組織などをつなぐ共創型のファシリテーション機能を持つことを期待されています。授業においては、自らの探究心や好奇心に基づく意思決定の機会が多く、また、「学びあい、教えあい」のコンセプトのもと、自らが学ぶだけでなく、他者に教えることによって学んでいくため、自他の成長への関心を持っている必要があります。

【求める学生像】

本学群は、学群の価値観や文化に共感する者を求めており、その選抜においては、以下の資質や能力をはかります。

- ①関心意欲が高く、色々な物事に興味関心を持てる好奇心を有する者
- ②主体的に学習に取り組む態度を有する者
- ③「学びあい、教えあい」のコンセプトや、自他の成長や変化への関心を有する者
- ④教育的活動を通じ、社会を良くしたいという意欲を有する者
- ⑤探究的な学びへの関心を有する者

航空学群

本学群は、「航空機の操縦」、「航空管制」、「航空機の整備管理」、「空港の運営」等、航空の各分野で活躍できるプロフェッショナルを育成することを目的としています。これらの分野で活躍するためには、航空工学、種々の法規程類を理解し、かつ高い語学運用能力を兼ね備える必要があります。さらに、経済、経営にも関心を持ち幅広く横断的な知識と高度な専門知識と技量を習得し、豊かなマネジメント能力が求められます。航空業界ひいてはグローバル社会に貢献できる人材を育成していきます。

【求める学生像】

本学群では、この教育の考えに共感し、学群での学修や経験を通して、成長を望む人たちを求めます。また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- ①高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者（特に、外国語運用能力と数理科学に関する基礎的な知識・技能）
- ②自ら進んで学ぶ強い意欲と自律心を有する者
- ③グローバルな社会の出来事、航空業界、国や地域、関連する産業界等の取り組みに強い関心を有する者
- ④社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者
- ⑤建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

3 学校推薦型選抜 各選抜方法

学校推薦型選抜では、高等学校までに修得すべき基礎的な知識および技能だけを評価するのではなく、以下のような観点から多面的な人物評価を行います。

公募制学校推薦型選抜

高等学校の学校長より推薦を受け、かつ本学の出願基準を満たす者が対象となります。それぞれの学群での教育を受けるために必要な「基礎学力（知識・技能）」だけではなく、高等学校時代の学習や活動を通して「思考力・判断力・表現力」や「主体性・多様性・協働性」が身につけていることが期待されます。面接審査では、出願書類に書かれた内容や意欲・人間性、高等学校までに身につけた「基礎学力（知識・技能）」に加え、「思考力・判断力・表現力」についても評価します。

指定校制学校推薦型選抜

本学の指定基準に基づき、指定された高等学校の学校長により推薦された者が対象となります。本学において教育を受けるために必要な「基礎学力（知識・技能）」だけではなく、高等学校時代の学習や活動を通して「思考力・判断力・表現力」や「主体性・多様性・協働性」が身につけていることが期待されます。面接審査では、志望理由、人間性、「思考力・判断力・表現力」についても確認します。

■各学群における注意事項

リベラルアーツ学群の領域選択について

出願の際に、「人文」「社会」「自然」の3つの領域の中から希望の領域を1つ選択してください。入学後は、出願時に選択した領域の専門基礎科目を多く履修することとなります。

（出願時に選択した領域から最低10単位、他の2領域からそれぞれ最低4単位ずつ修得することが卒業要件となります。）

※卒業時のメジャー（主専攻）とマイナー（副専攻）は、入学時に選択する領域と異なるものであっても問題ありません。

※出願時に選択した領域によって学校推薦型選抜における課題図書や、一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜における受験科目等が異なります。詳細は各募集要項を確認してください。なお、出願時に選択する領域によって合否判定の結果に影響が及ぶことはありません。大学入学後に学びたい領域を選ぶようにしてください。

※インターネットでの出願完了後に志望学群、領域、選抜方式の変更は一切できません。出願時に学群、領域ならびに選抜方式に間違いがないかを必ず確認してください。

※編入学者選抜で3年次編入を志望する者は、「人文」「社会」「自然」の3つの領域から希望する領域を1つ選択し、あわせて希望するメジャー（主専攻）とマイナー（副専攻）をすべてのプログラム（統合領域含む）から選択してください。なお、メジャーとマイナーは異なる領域から1つずつ選択してください。入学時に選択した領域は入学後に変更できませんが、メジャーとマイナーは入学後に変更することが可能です。

※3年次編入学者の専攻演習（ゼミ）または探究サービスラーニングの選択は入学後となりますが、必ずしも希望する教員の専攻演習または探究サービスラーニングが履修できるとは限りません。

グローバル・コミュニケーション学群の言語トラックについて

グローバル・コミュニケーション学群には「英語」「中国語」「日本語」「トリリンガル」の4つの言語トラックがあります。出願時に学修を希望する言語トラックを1つ選択してください。入学後は、選択した言語を1年次の必修語学科目として学びます。

「トリリンガル」を選択した場合は、1年次に韓国語、2年次に英語または中国語を学びます。2年次に学修を希望する言語も選択してください。（国際学生選抜、編入学者選抜では出願時に「トリリンガル」は選択できません。）

「パブリック・リレーションズ専修」「言語探究専修」「文化共創専修」のいずれかの専修は、2年次に選択します。

※入学後に学修を希望する言語トラックとして第一言語は選択できません。第一言語とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

ビジネスマネジメント学群の領域とプログラム選択について

ビジネスマネジメント学群の各領域は、ビジネスマネジメント学群として一括募集となります。エアラインホスピタリティ留学の希望者は、1年次秋学期以降に行われる選抜に合格する必要があります。

健康福祉学群の専攻選択について

健康福祉学群は、出願の際に「健康科学専攻」「スポーツ科学専攻」「社会福祉学専攻」「精神保健福祉学専攻」「実践心理学専攻」「保育学専攻」から専攻を1つ選択してください。

芸術文化学群の専修選択について

芸術文化学群は、出願の際に「演劇・ダンス専修」「音楽専修」「ビジュアル・アーツ専修」から専修を選択します。

航空学群の3コース（航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コース）について

航空学群3コースは、出願の際に現時点で学修を希望するコースを選択してください。この選択は選抜の可否には一切関係しません。

2年次からのコース選抜については1年次終了までに行われる希望調査の結果に原則従いますが、希望するコースに極端な偏りがあった場合は審査を行い、その結果により所属コースが決定します。



この入試概要には全学群の情報を掲載しています。選抜方式によっては募集のない学群もありますので、募集内容を確認してください。

4 出願から入学手続きまでの流れ

STEP

1

出願期間等の日程・出願書類を確認する

入試日程と出願書類の詳細は、各選抜ページをご確認ください。

STEP

2

出願書類を作成・準備する

選抜方式ごとに必要な出願書類が異なります。該当する出願書類のページを確認してください。

STEP

3

「インターネット出願サイト」から出願する

1 事前準備

インターネット環境

インターネットに接続されたパソコン、タブレットを用意してください。接続状況が不安定になる機器ではインターネット出願が完了できない場合がありますので、利用環境が安定しているパソコンでの出願を推奨します。

顔写真データ

インターネット出願時にデータをアップロードしますので、データで準備をしてください。無背景・上半身・脱帽・カラー写真（服装自由）。白黒・加工修正は不可。
※顔写真データは入学後に学生証として卒業まで使用します。

プリンター

「郵送ラベル」の印刷、「受験票」の印刷（A4サイズ推奨）に必要です。
携帯電話等の画面を使用しての受験票提示は認めません。

メール受信許可

登録完了後、確認メールを送信します。携帯メールを登録する場合は、送信元（eraku-p.jp、obirin.ac.jp）の受信を許可してください。

2

「インターネット出願サイト」にアクセスしてユーザー登録をする

桜美林大学「受験生サイト」から「インターネット出願サイト」にアクセスしてください。
受験生サイト：<http://admissions.obirin.ac.jp/>



3

出願内容の登録・確認 ※メールで確認

画面の指示に従って【志望学群・選抜方式を選択＞個人情報の入力＞出願内容の確認】と画面遷移し、各項目に入力してください。

最終画面の「申し込み完了画面」最終ページに、「マイページ」への「ログインID（初回のみ）」と、検定料の「お支払い番号」が表示されますので、忘れないように控えておいてください。

出願登録が完了すると、「[桜美林大学] インターネット出願登録受付・払込票・整理番号通知」のメールが届き、「マイページ」が作成されます。

4

検定料の支払い ※メールで確認

コンビニエンスストアまたはクレジットカードで検定料の支払いをしてください。

支払い後、メールが届きますので確認してください。

利用できるクレジットカード

VISA Mastercard JCB AMERICAN EXPRESS
Diners Club

利用できるコンビニエンスストア（日本国内のみ）

セブンイレブン ローソン ファミリーマート
ミニストップ デイリーヤマザキ セイコーマート

※ 検定料のほかに手数料が必要です。

※ 支払期限内に検定料の支払いがなかった場合は、登録情報は無効になります。再度、出願登録が必要です。

※ 領収書の提出は必要ありません。お手元に保管してください。

※ 支払い方法でクレジットカードを選択した場合は、登録完了と同時に入金が完了となります。



検定料の支払い後は出願内容の変更、検定料の返還が原則できませんので、支払い前に出願内容の確認を必ず行ってください。

5 書類を提出（オンライン入力+郵送）

一部の書類は郵送が必要になります。

郵送する書類は、A4サイズの片面で印刷して提出してください。

「インターネット出願サイト」の「マイページ」から「郵送ラベル（A4）」を印刷し、角2封筒（角型2号）に貼付して出願書類を出願期間内に郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください（出願締切日消印有効）。

【重要】 検定料の支払い、および「オンライン提出書類のウェブ入力」、「[提出を完了する]ボタンを押す」ことを完了していないと「郵送ラベル」は印刷できません。「オンライン提出書類」と「郵送する出願書類」が受理されることで出願完了となります。書類受理の連絡はしていません。書類に不備等があった場合は、本学からメールまたは電話で確認の連絡をいたしますので、受験票発行日まで待ってください。

出願書類の郵送先

〒150-8681 渋谷郵便局留 桜美林大学入学部

6 「受験票」の発行・確認・印刷

受験票発行日に、「インターネット出願サイト」の「マイページ」より「受験票」を発行しますので、受験番号等を確認してください。受験票の郵送はしていません。

「受験票」の発行日については各選抜の「出願期間等の日程」で確認してください。

【キャンパス受験の場合】：「受験票」は印刷し、試験日に必ず持参してください（A4サイズ推奨）。

【オンライン受験の場合】：「受験票」は印刷し、試験日に必ず手元に準備してください。

STEP

4 試験を受験する

Step3 ⑥で印刷した「受験票」を必ず用意してください。

STEP

5 合否を「マイページ」より確認する

合格通知の郵送は行っていません。

STEP

6 入学手続（入学金、授業料等の納入）を行う

合格者のみ

「マイページ」の合格通知に掲載している案内に基づき、所定の期日までに入学金、授業料等を納入してください。

入学手続締切後の手続は一切受け付けません。

問い合わせ先

入学部インフォメーションセンター

TEL：042-797-1583 [平日] 9：00～17：00（土・日・祝・大学一斉休暇期間 閉室）

※大学一斉休暇期間：8月10日～8月16日、12月27日～1月6日

メール：info-ctr@obirin.ac.jp

インターネット
出願で困ったら
「よくある質問」
はコチラから！



「お試し入力」のご案内

オンライン入力が必要な出願書類は、出願サイトで「お試し入力」することが可能です。以下のURL（またはQRコード）にアクセスし、[出願登録を開始する]ボタンから進んでユーザー登録の上、「お試し入力」機能をご利用ください。「お試し入力」は、出願期間前から利用可能です。

<https://www.eraku-p.jp/erp/obirin/>



II 募集内容・出願資格

1 募集学群・募集人員・選抜方法

■ 募集学群・募集人員

学群・専攻・専修・コース		入学定員	募集人員	指定校制第1回	指定校制第2回	公募制
リベラルアーツ学群		900人	230人	○	○	○
グローバル・コミュニケーション学群		250人	50人	○	○	○
ビジネスマネジメント学群		480人	100人	○	—	○
健康福祉学群	健康科学専攻	300人（50人※1）	75人（15人※1）	○	—	○
	スポーツ科学専攻			○	—	○
	社会福祉学専攻			○	○	○
	精神保健福祉学専攻			○	○	○
	実践心理学専攻			○	—	○
	保育学専攻			○	—	○
芸術文化学群	演劇・ダンス専修	400人	100人	○	○	○
	音楽専修			○	○	○
	ビジュアル・アーツ専修			○	—	○
教育探究科学学群		150人	55人	○	○	○
航空学群	フライト・オペレーション（パイロット養成）コース	40人	5人	○	—	—
	航空管制コース・航空機管理コース・空港管理コース	100人	20人	○	○	○
合計		2,620人	635人			

※1（ ）内の数字は、保育学専攻の入学定員・募集人員を内訳として表記。

■ 選抜方法

選抜方法は選抜方式により異なります。詳細は各選抜方式の該当ページを確認してください。

選抜方式	専願・併願の種別	実施回		該当ページ
		第1回	第2回	
公募制	専願もしくは併願	○	—	P.18
指定校制	専願	○	○	P.23
指定校制（航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コース）	専願	○	—	P.26

重要

専願・併願について

学校推薦型選抜の各選抜方式により、「専願」と「併願」があります。いずれかを選択のうえ出願してください。

- ① 専願… 桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。
- ② 併願… 他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意思がないものとみなします。

面接・実技試験の実施方法について

選抜方式により、「キャンパス」もしくは「オンライン」いずれかをインターネット出願時に選択できます。実施方法の選択は可否に一切関係ありません。

「キャンパス」を選択した場合、試験会場を出願期間等の日程で確認してください。

「オンライン」を選択した場合、自宅等で受験ができますが、指定期間内に事前接続テストの参加が必須です。（本学キャンパスに来校してオンライン受験はできません。）

また、出願登録後に面接実施方法（キャンパス・オンライン）の変更はできませんので、間違いがないかを必ず確認してください。

出願登録時に「キャンパス」を選択していて、出願登録後に感染症罹患等の理由で対面での受験ができない場合や困難であると想定される場合は、入学部インフォメーションセンターまで連絡してください。

オンライン面接試験事前接続テストについて

「オンライン」を選択した場合、「オンライン面接事前接続テスト」の参加が必須となります。オンライン面接を受験する同じ場所、同じ環境で行ってください。

「完了報告」が確認できない場合、試験を受験できないことがありますので注意してください。

- ① 接続テスト期間中の都合の良い時間に、受験票に記載のあるURLへアクセス。（所要時間は10分程度です。）
- ② 試験当日の流れについて確認するとともに、音声・映像等に問題がないことを確認してください。
- ③ 所定のURLより「オンライン面接事前接続テスト」の完了報告を行う。

※詳細は受験票発行日に受験票にてお知らせします。

2 出願資格

※本節は公募制の出願資格です。指定校制および指定校制（航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コース）は、桜美林大学が指定する高等学校の在籍者が対象です。

次の各号のいずれかに該当する者、または2027年3月31日までに該当する見込みのある者。

1. 日本国内の高等学校又は中等教育学校を卒業した者
2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程〔文部科学大臣指定準備教育課程一覧*¹〕又は研修施設〔文部科学大臣指定研修施設一覧*²〕の課程を修了する必要がある。）
- * 「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。
4. 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程（文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧*³）を修了した者
5. 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校（我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧*⁴）を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程〔文部科学大臣指定準備教育課程一覧〕を修了する必要がある。）
6. 高等学校と同等と認定された在外教育施設（文部科学大臣認定等在外教育施設〔高等部を設置するもの〕一覧*⁵）の課程を修了した者
7. 指定された専修学校の高等課程（文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧*⁶）を修了した者
8. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルを保有する者
9. 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設（国際的な評価団体認定外国人学校について*⁷）の12年の課程を修了した者

*CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したもののについても入学資格が認められます。

★¹ 文部科学大臣指定準備教育課程一覧

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/001.htm

★² 文部科学大臣指定研修施設一覧

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/002.htm

★³ 文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1380756.htm

★⁴ 我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/003.htm

★⁵ 文部科学大臣認定等在外教育施設（高等部を設置するもの）一覧

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/004.htm

★⁶ 文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1234679.htm

★⁷ 国際的な評価団体認定外国人学校について

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/006.htm

3 課題図書

出願の際に各学群指定の課題図書を読み、「読書レポート」を出願書類として提出してください。また、面接では課題図書の内容理解度を問います。

学群	課題図書
リベラルアーツ学群	出願する領域によって課題図書が異なります。 〈人文・社会領域〉『世界の力関係がわかる本 ―― 帝国・大戦・核抑止』千々和泰明（ちくまプリマー新書／ISBN:9784480685216） 〈自然領域〉『美しく残酷なヒトの本性 遺伝子、言語、自意識の謎に迫る』長谷川真理子（PHP研究所／ISBN:9784569859415）
グローバル・コミュニケーション学群	下記2冊から1冊選択のこと ①『外国語をはじめる前に』黒田龍之助（ちくまプリマー新書／ISBN:9784480688835） ②『Animal Farm』George Orwell（Penguin Books／ISBN:9780141036137） 面接時、課題図書の内容は、選んだ本が書かれている言語で質問をします。読書レポートは、選択した本が書かれている言語で記述してください。
ビジネスマネジメント学群	『知的複眼思考法―誰でも持っている創造力のスイッチ』荻谷剛彦（講談社／ISBN:9784062566100）
健康福祉学群	下記2冊から1冊選択のこと ①『長生きできる町』近藤克則（角川新書／ISBN:9784040822235） ②『なぜ人と人は支え合うのか』渡辺一史（ちくまプリマー新書／ISBN:9784480683434）
航空学群3コース	『君たちはどう生きるか』吉野源三郎（岩波文庫／ISBN:9784003315811）
芸術文化学群	出願する専修によって課題図書が異なります。 〈演劇・ダンス専修〉下記2冊から1冊選択のこと 『身体が生み出すクリエイティブ』諏訪正樹（ちくま新書／ISBN:9784480071248） 『人はなぜ物語を求めるのか』千野帽子（ちくまプリマー新書／ISBN:9784480689795） 〈音楽専修〉『音楽の危機-《第九》が歌えなくなった日』岡田暁生（中公新書／ISBN:9784121026064） 〈ビジュアル・アーツ専修〉『デザインのめざめ』原研哉（河出文庫／ISBN:9784309412672）

※教育探究科学群では課題図書は課していません。

4 学校推薦型選抜

■ 出願期間等の日程

		(第1回) 公募制／指定校制／指定校制 (航空学群フライト・オペレーション (パイロット養成) コース)	(第2回) 指定校制 ^{※3}
インターネット出願	出願登録	11月1日(日)～11月10日(火) 最終日は正午(12時)まで	11月17日(火)～12月11日(金)
	検定料支払期限	11月10日(火)	12月11日(金)
		出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は、検定料の支払い、および「オンライン提出書類」の提出が完了した後から印刷が可能となります。出願書類提出期限に間に合うように、早めに検定料を支払うようにしてください。	
	出願書類提出期限	11月10日(火) 消印有効	12月11日(金) 消印有効
		出願書類提出期限は 消印有効 となりますので、特に期限最終日の郵便局の取り扱い時間について、注意してください。	
審査	受験票発行開始日	11月20日(金) 15時から順次発行	12月22日(火)
	オンライン面接試験事前 接続テスト ^{※1} (オンライン 選択者のみ参加必須)	11月24日(火) 9:00～11月25日(水) 17:00 都合の良い時間にアクセスしてテスト実施(所要時間約10分程度)	2027年1月7日(木) 9:00～1月8日(金) 16:00
	試験日(キャンパス・オンライン共通)	11月28日(土) キャンパス選択者試験会場： [ひなたやまキャンパス]：芸術文化学群 [町田キャンパス]：リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネス マネジメント学群、健康福祉学群、教育探究科学群、航空学群	2027年1月9日(土) ※第2回はオンラインのみ(「キャンパス」は 選択できません。)
	合格発表日	12月4日(金) 可否照会は10時から可能です。また、合格者のみ13時から合格通知を確認できます。	2027年1月15日(金)
	専願	12月11日(金) 一括納入(入学金および春学期納入金)	2027年1月22日(金)
入学 手続 締切日	併願(1次) ^{※2}	12月11日(金) (入学金)	—
	併願(2次) ^{※2}	2027年2月24日(水) (入学金以外の春学期納入金)	—

※1 〈オンライン面接試験事前接続テスト〉「オンライン」を選択した者は、「オンライン面接接続テスト」を事前に行います。テストの詳細は受験票にてお知らせします。なお、可否には一切関係ありません。

※2 併願は公募制のみです。指定校制・指定校制(航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コース)は専願のみの募集です。1次入学手続を期日までに行わなかった場合、その後の入学手続はできません。入学の意思がないものとみなします。

※3 指定校制学校推薦型選抜第2回の出願にあたり、本学の総合型選抜もしくは学校推薦型選抜を受験し不合格となった履歴のある方

は、受験した際と同一の学群・専修等への出願は認められませんのでご注意ください（受験をしていない学群・専修等への出願は可能です）。

A 公募制

専願

桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

併願

他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意思がないものとみなします。

■出願資格と選抜方式固有の出願条件

出願資格：P.14（II.2出願資格）に該当する者。

出願条件：以下の出願条件すべてに該当する者。

- ①出身高等学校等の推薦基準により、学校長から推薦が得られる学業・人物ともに優秀な者。
- ②日本国内の高等学校（中等教育学校後期課程を含む）等を2026年3月以降に卒業した者、または2027年3月までに卒業見込みの者。
- ③以下の出願条件を満たす者。※専願・併願の種別により出願条件が異なります。

【専願】

学群	出願条件
リベラルアーツ学群	全体の評定平均値が3.3以上の者
ビジネスマネジメント学群	
健康福祉学群	
グローバル・コミュニケーション学群	全体の評定平均値が3.0以上の者
芸術文化学群	
航空学群3コース	
教育探究科学群	

上記の評定平均値が基準未満の場合でも、下記の資格いずれか1つ以上を有する者も出願できます。（芸術文化学群、航空学群3コースを除く）

カテゴリー	資格名	リベラルアーツ学群・ビジネスマネジメント学群・健康福祉学群・教育探究科学群	グローバル・コミュニケーション学群
英語資格	実用英語技能検定	準2級又は1728点以上※1	準2級又は1728点以上※1
	ケンブリッジ英語検定	120点以上	120点以上
	TOEFL iBT®	34点以上※2	38点以上※2
	TOEIC L&R	420点以上※3	430点以上※3
	GTEC（4技能版）	680点以上※4	680点以上※4
	TEAP	135点以上	135点以上
	TEAP CBT	235点以上	235点以上
	国連英検	C級	—

カテゴリー	資格名	リベラルアーツ学群・ビジネスマネジメント学群・健康福祉学群・教育探究科学群	グローバル・コミュニケーション学群
商業・簿記	日商簿記	2級	—
	全商簿記	2級	—
	全経簿記	2級	—
情報処理	全商情報処理検定（ビジネス情報部門）	1級	—
	全商情報処理（プログラミング部門）	1級	—
	情報処理技術者試験	ITパスポート又は上位スキルレベル	—
	ICTプロフィシエンシー検定試験（P検）	2級	—
その他	実用数学技能検定	2級	—
	日本語検定	3級	—
	漢字検定	2級	—
	情報検定：J検定（情報活用試験）	2級	—
	パソコン利用技術検定	2級	—
	理科検定（実用理科技能検定）	2級（リベラルアーツ学群のみ）	—

※各資格・検定試験はオフィシャルスコア、かつ対象となる選抜の出願初日からさかのぼって2年以内に受験したものに限りします。

※1「従来型」「英検S-CBT」「英検S-Interview」を含む。

※2 Test Date Scoresのスコアに限る。My Best™ Scores、ITP（Institutional Testing Program）は不可。2026年1月21日以降に受験した新スコア形式（1.0～6.0のバンドスコア）でも出願可能です。スコアレポートに併記される旧スコア（0～120点）の数値を確認して出願してください。

※3 IP（Institutional Program）は不可。

※4「GTEC」CBTタイプ、「GTEC」検定版を含む。4技能のオフィシャルスコアに限る。

【併願】

学群	出願条件
ビジネスマネジメント学群	全体の評定平均値3.8以上の者
リベラルアーツ学群	全体の評定平均値3.5以上の者
健康福祉学群	
グローバル・コミュニケーション学群	全体の評定平均値3.3以上の者
航空学群3コース	
芸術文化学群	全体の評定平均値3.0以上の者
教育探究科学群	

■選抜方法

学群	選抜方法・審査方法
リベラルアーツ学群 ビジネスマネジメント学群 健康福祉学群 教育探究科学群	1.書類審査 2.面接（約10分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.14（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者1～2人で実施します。 ・教育探究科学群は、課題図書を課しません。
航空学群3コース	1.書類審査 2.面接（約15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.14（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。 ・航空学群3コースは英語による質問もします。
グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.面接（約15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.14（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.29（Ⅱ.5グローバル・コミュニケーション学群の審査方法）で確認してください。
芸術文化学群	1.書類審査 2.面接または実技審査・作品審査 ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.31（Ⅱ.6芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

■ 審査過程における合否判定の方針

学校推薦型選抜の主旨に照らして調査書、取得資格、推薦書等の出願書類ならびに面接の結果等から、入学志願者の能力、適性や学修に対する意欲、目的意識等を総合的な観点から審査します。

■ 出願期間等の日程

詳細は、P.16（出願期間等の日程）で確認してください。

■課題図書

詳細はP.14（課題図書）を確認してください。

■出願書類

- ・オンライン提出した書類は郵送不要です。郵送書類を任意の角2（角型2号）封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。郵送方法の詳細はP.10（4出願から入学手続までの流れ）を確認してください。不足のないよう十分に注意してください。
- ・提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。なお、提出した書類・情報から語学資格の試験結果について真偽の確認を、試験実施機関に行う場合があります。

【公募制（専願・併願共通）】

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	志願者経歴書	1	
ウェブ入力	志望理由書	4	
原本郵送 厳封	推薦書	8	高校教員に作成を依頼してください。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
データ	顔写真データ	ー	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。データ加工不可 <u>（※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）</u>
コピー郵送	検定試験や語学力評価書等の合格証明書、認定書、資格証明書のスコア（試験を受けた者のみ）	ー	提出は任意。 <u>ただし、評定平均値が出願条件を満たさず、指定の資格で出願する者は必ず提出してください。</u> グローバル・コミュニケーション学群の志願者は、評定平均値が出願条件を満たしていても、募集要項の出願条件に記されている試験において基準以上の得点を有する場合は、合格証のコピーを提出することを推奨します。中国語の場合はHSK、中国語検定、日本語の場合は日本語能力試験（得点の記載のある証明書）の受験結果がある場合は提出を推奨します。グローバル・コミュニケーション学群への出願者で、第一言語または第一言語以外の語学力（英語・中国語・日本語）を証明する資格がある者は合格証明書、オフィシャルスコアがある者は得点の記載がある証明書の各コピーを提出してください。 ・実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書の印刷提出も可。 ・実用英語技能検定、TOEFL iBT®、TOEIC® L&R、GTEC（4技能版）、GTEC（3技能版）、GTEC CBT ・HSK（中国語）、中国語検定 ・日本語能力試験、日本留学試験、SAT、ACT、TOEFL® Test、GCE、ABITUR、BACCALAUREATE等
原本郵送 厳封	高等学校等の調査書等	ー	・出願初日からさかのぼって3ヶ月以内に発行したもの ・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください（コピー可）。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma）」、「成績証明書」を提出してください。（日本語、英語表記以外のものには、任意様式のうえ日本語訳を添付すること） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業生も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 ・第1回に出願する場合、2学期制の高等学校においては、第3学年前期の成績を記載できない場合、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。
ウェブ入力	読書レポート	5	リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群、航空学群3コース、芸術文化学群（課題図書型選択）の出願者は提出してください。教育探究科学群、芸術文化学群（実技型・作品審査型選択）の出願者は提出不要です。グローバル・コミュニケーション学群の読書レポートは、選択した本が書かれている言語で記述してください。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	活動報告書	3	芸術文化学群の出願者は提出してください。 高等学校等入学後から出願時までの期間における活動実績を記入してください。ただし、幼少期等から始めた活動で、高等学校等入学時点まで継続して取り組んでいる活動については記載することができます。 <u>別添資料（コピー可）の提出は任意です。別添資料は郵送で提出してください。</u>（オンラインのアップロードはできません）。別添資料の郵送をする場合は、他の郵送が必要な出願書類とともに、郵送ラベルを使用して郵送してください。 CD,DVD,USBその他外部記録媒体での提出はできません。

【外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は以下を追加提出】

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	経費支弁書	11	
原本郵送	住民票の写し	—	在留資格が記載されているものでコピーは不可です。 （※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。）

B 指定校制

専願

桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

■出願資格と選抜方式固有の出願条件

桜美林大学が指定する高等学校在籍者で、以下の出願条件を満たす者

出願条件：以下（１）～（３）のすべての要件を満たす者

- （１）出身高等学校等の推薦基準により学校長から推薦が得られる者
- （２）本学が指定する評定平均値の条件を満たす者
- （３）2027年3月卒業見込みの者

※条件の詳細は指定校枠付与対象校にのみ発送している文書にて確認してください。またインターネット出願の際に求められるパスワードについても発送している文書で確認してください。詳細は進路指導の先生に確認してください。

■面接の実施方法について

第1回日程では、「キャンパス」もしくは「オンライン」いずれかを選択可能とします。

第2回日程では、募集学群全ての面接がオンラインでの実施となります。

いずれの実施方法を選択しても選抜の可否には一切影響がありません。

■選抜方法

学群	選抜方法
リベラルアーツ学群 ビジネスマネジメント学群 健康福祉学群 教育探究科学群	面接（志望理由ならびに課題図書の内容理解度含む）—約10分— ・各学群が指定している課題図書の内容理解度を含む面接を行いますので、課題図書を熟読しておく必要があります。 ※教育探究科学群は、課題図書を課しません。
航空学群3コース	面接（志望理由ならびに課題図書の内容理解度含む）—約15分— ・各学群が指定している課題図書の内容理解度を含む面接を行いますので、課題図書を熟読しておく必要があります。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。 ・航空学群3コースは英語による質問もします。
グローバル・コミュニケーション学群	面接—約15分— ・入学を希望する言語トラックによっては語学力を測るため、複数の言語による面接試験を行います。 ・面接方法はP.29（Ⅱ.5グローバル・コミュニケーション学群の審査方法）で確認してください。 ・学群が指定している課題図書の内容理解度を含む面接を行いますので、課題図書を熟読しておく必要があります。
芸術文化学群	面接（志望理由ならびに課題図書の内容理解度含む）—約15分— ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.31（Ⅱ.6芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

■出願期間等の日程

詳細は、P.16（出願期間等の日程）で確認してください。

■課題図書

詳細はP.14（課題図書）を確認してください。

■出願書類

- ・オンライン提出した書類は郵送不要です。郵送書類を任意の角2（角型2号）封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。郵送方法の詳細はP.10（4出願から入学手続までの流れ）を確認してください。不足のないよう十分に注意してください。
- 提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。なお、提出した書類・情報から語学資格の試験結果について真偽の確認を、試験実施機関に行う場合があります。

【指定校制（航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コース除く）】

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	志願者経歴書	1	
ウェブ入力	志望理由書	4	
原本郵送 厳封	推薦書	8	高校教員に作成を依頼してください。
データ	顔写真データ	—	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。データ加工不可 <u>（※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）</u>
コピー郵送	検定試験や語学力評価書等の合格証明書、認定書、資格証明書のスコア（試験を受けた者のみ）	—	提出は任意。グローバル・コミュニケーション学群への出願者で、第一言語または第一言語以外の語学力（英語・中国語・日本語）を証明する資格がある者は合格証明書、オフィシャルスコアがある者は得点の記載がある証明書の各コピーを提出してください。（出願要件として提出が必要な場合、対象となる選抜の出願初日からさかのぼって2年間以内に受験し取得した級・スコアが有効） ・実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書の印刷提出も可。 ・実用英語技能検定、TOEFL iBT®、TOEIC® L&R、GTEC（4技能版）、GTEC（3技能版）、GTEC CBT ・HSK（中国語）、中国語検定 ・日本語能力試験、日本留学試験、SAT、ACT、TOEFL® Test、GCE、ABITUR、BACCALAUREATE等過去にいずれかの試験を受けている場合は提出。可否判定時の参考資料とします。
原本郵送 厳封	高等学校等の調査書等	—	・出願初日からさかのぼって3ヶ月以内に発行したもの ・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください（コピー可）。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma）」、「成績証明書」を提出してください。（日本語、英語表記以外のものには、任意様式のうえ日本語訳を添付すること） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 ・第1回に出願する場合、2学期制の高等学校においては、第3学年前期の成績を記載できない場合、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	読書レポート	5	リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群、航空学群3コース、芸術文化学群の出願者は提出してください。教育探究科学群の出願者は提出不要です。グローバル・コミュニケーション学群の読書レポートは、選択した本が書かれている言語で記述してください。
ウェブ入力	活動報告書	3	芸術文化学群の出願者は提出してください。 高等学校等入学後から出願時までの期間における活動実績を記入してください。ただし、幼少期等から始めた活動で、高等学校等入学時点まで継続して取り組んでいる活動については記載することができます。 <u>別添資料（コピー可）の提出は任意です。別添資料は郵送で提出してください。</u> （オンラインのアップロードはできません）。別添資料の郵送をする場合は、他の郵送が必要な出願書類とともに、郵送ラベルを使用して郵送してください。 CD,DVD,USBその他外部記録媒体での提出はできません。

【外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は以下を追加提出】

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	経費支弁書	11	
原本郵送	住民票の写し	—	在留資格が記載されているものでコピーは不可です。 （※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。）

C 指定校制（航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コース）

専願 桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群、芸術文化学群、教育探究科学群、航空学群3コースについては、P.23（B 指定校制）を確認してください。

■出願資格と選抜方式固有の出願条件

桜美林大学が指定する高等学校在籍者で、以下の出願条件1および2を満たす者

出願条件1：以下（1）～（3）のすべての要件を満たす者

- （1）出身高等学校等の推薦基準により学校長から推薦が得られる者
- （2）本学が指定する評定平均値の条件を満たす者
- （3）2027年3月卒業見込みの者

※条件の詳細は指定校枠付与対象校にのみ発送している文書にて確認してください。またインターネット出願の際に求められるパスワードについても発送している文書で確認してください。詳細は進路指導の先生に確認してください。

出願条件2：以下（1）～（4）のすべての要件を満たす者

- （1）2026年5月1日以降に本学の指定医療機関P.28（航空身体検査 指定医療機関一覧）において航空身体検査を受診し、「第1種相当」に適合と診断された証明書の写し（コピー）を出願書類として提出できる者
- （2）オルソケラトロジー（レーシック、PRKとは異なります）による矯正を行っていないこと。
- （3）以下①～⑪いずれかの資格を有する者（対象となる選抜の出願初日からさかのぼって2年間以内に受験したものであること。）
- （4）2026年7月～8月の指定する日時に実施するプレチェックに参加した者（プレチェックの申込方法等は、お問い合わせください）。

英語資格要件

出願条件2（3）：以下①～⑪いずれかの資格を有する者

番号	資格名	基準
①	実用英語技能検定	2級以上または1980点以上※1
②	ケンブリッジ英語検定	140点以上※2
③	GTEC	930点以上※3
④	TOEIC L&R	550点以上※4
⑤	TOEIC L&RおよびS&W	790点以上※4
⑥	TOEIC Bridge L&R	84点以上※4
⑦	TOEIC Bridge L&RおよびS&W	170点以上※4
⑧	TOEFL iBT®	42点以上※5
⑨	IELTS	4.0以上※6
⑩	TEAP	225点以上
⑪	TEAP CBT	420点以上

※1 「従来型」「英検S-CBT」「英検S-Interview」を含む。

※2 受験した各試験種別〔ファースト（FCE）等〕の合格・不合格は問わない（スコアのみを合否判定に採用）。Linguaskillは不可。

※3「GTEC」CBTタイプ、「GTEC」検定版を含む。4技能のオフィシャルスコアに限る。

※4 IP (Institutional Program) は不可。

※5 Test Date Scoresのスコアに限る。TOEFL iBT® Special Home Editionは可。My Best™ Scores、ITPは不可。2026年1月21日以降に受験した新スコア形式（1.0～6.0のバンドスコア）でも出願可能です。スコアレポートに併記される旧スコア（0～120点）の数値を確認して出願してください。

※6 IELTSは証明書に記載されている「オーバーオールバンドスコア」欄のスコア（アカデミック・モジュールに限る）。Computer delivered IELTSを含む。General Training Moduleは不可。

■選抜方法・日程

1. 書類審査（出願書類）

2. 面接（日本語）

詳細は、P.16（出願期間等の日程）で確認してください。

■課題図書

なし

■出願書類

- オンライン提出した書類は郵送不要です。郵送書類を任意の角2（角型2号）封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。郵送方法の詳細はP.10（4出願から入学手続までの流れ）を確認してください。不足のないよう十分に注意してください。提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。なお、提出した書類・情報から語学資格の試験結果について真偽の確認を、試験実施機関に行う場合があります。

【指定校制（航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コース）】

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	志願者経歴書	1	
ウェブ入力	志望理由書	4	
原本郵送 厳封	推薦書	8	高校教員に作成を依頼してください。
コピー郵送	航空身体検査	9	・2026年5月1日以降に受診したもの。 ・航空身体検査指定医療機関一覧を参照し、検査の上、「第一種相当」の証明を受けてください。 ・医療機関での受診および診断結果を受け取るまでに時間を要するため、受診の予約は早めに行ってください。 ・様式の1ページ目は事前に記入し、受診時に医療機関に提出してください（2ページ目は医療機関記入欄です）。 ・出願書類提出時は、1ページ目、2ページ目ともにコピーをし、提出してください。 ・本学の指定様式以外に、医療機関で発行された検査結果の用紙がある場合は、そのコピーもあわせて提出してください。
データ	顔写真データ	ー	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。データ加工不可 <u>（※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）</u>

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
コピー郵送	出願条件を満たす語学資格等の証明書	—	出願条件の英語資格またはスコアを提出してください。
コピー郵送	検定試験や語学力評価書等の合格証明書、認定書、資格証明書のスコア（試験を受けた者のみ）	—	提出は任意。その他、諸資格を取得している場合は提出 ・実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書の印刷提出も可。
原本郵送 厳封	高等学校等の調査書等	—	・出願初日からさかのぼって3ヶ月以内に発行したもの ・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください（コピー可）。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma）」、「成績証明書」を提出してください。（日本語、英語表記以外のものには、任意様式のうえ日本語訳を添付すること） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業生も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 ・第1回に出願する場合、2学期制の高等学校においては、第3学年前期の成績を記載できない場合、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。

【外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は以下を追加提出】

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	経費支弁書	11	
原本郵送	住民票の写し	—	在留資格が記載されているものでコピーは不可です。 （※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。）

■航空身体検査 指定医療機関一覧

※指定医療機関での受診期限：2026年5月1日（金）～8月21日（金）

医療機関での受診は例年大変混み合います。受診の予約は早めに行うようにしてください。受診期間を過ぎた場合には原則出願できなくなりますが、別途入学部インフォメーションセンターへ連絡・相談してください。

地区	都道府県	医療機関名	所在地	電話番号
関東	東京	医療法人社団東翔会 永田町つばさクリニック	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル2階	03-3511-2839
	東京	宮入内科	〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館3階	03-3211-4845
	東京	医療法人財団 圭友会小原病院	〒164-0012 東京都中野区本町3-28-16	03-3372-0311
近畿	兵庫	医療法人社団東翔会 立山内科医院	〒664-0882 兵庫県伊丹市鈴原町8-67	072-781-1801
九州	福岡	一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院	〒802-8555 福岡県北九州市小倉北区浅野3-2-1	093-511-2000

※いずれの医療機関も受診可能人数が限られます。受診の予約は早目に行うようにしてください。

※いかなる理由でも指定医療機関以外の受診は認めません。

5 グローバル・コミュニケーション学群の審査方法

グローバル・コミュニケーション学群では、語学力を測るため、複数の言語で面接試験を行います。使用する言語は以下を確認してください。

面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接時間は約15分です。面接では志望動機を中心に、出願書類の内容のほか、絵や写真を見て答える質問も行います。

課題図書については、選んだ本が書かれている言語で質問します。

○：面接で必ず使用する言語 △：面接で必要に応じて使用する言語

第一言語*	入学を希望する言語トラック	面接で使用する言語				備考
		日本語	英語	中国語	韓国語	
日本語	日本語	—	—	—	—	入学を希望する言語トラックと第一言語が同じ場合は出願できません。
	英語	○	—	—	—	
	中国語	○	—	○※1	—	※1中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次英語）	○	—	—	○※2	※2韓国語未習者の場合は、韓国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次中国語）	○	—	○※1	○※2	※1中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。 ※2韓国語未習者の場合は、韓国語による面接は免除します。
英語	日本語	○	○	—	—	
	英語	—	—	—	—	入学を希望する言語トラックで、第一言語を選ぶことはできません。
	中国語	—	○	○※1	—	※1中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次英語）	—	—	—	—	入学を希望する言語トラックと第一言語が同じ場合は出願できません。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次中国語）	—	○	○※1	○※2	※1中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。 ※2韓国語未習者の場合は、韓国語による面接は免除します。

第一言語＊	入学を希望する言語トラック	面接で使用する言語				備考
		日本語	英語	中国語	韓国語	
中国語	日本語	○	△	－	－	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	－	－	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	－	－	－	－	入学を希望する言語トラックで、第一言語を選ぶことはできません。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次英語）	△	○	－	○※2	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。 ※2韓国語未習者の場合は、韓国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次中国語）	－	－	－	－	入学を希望する言語トラックと第一言語が同じ場合は出願できません。
韓国語	日本語	○	△	－	－	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	－	－	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	△	△	○※1	－	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 ※1中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次英語）	－	－	－	－	入学を希望する言語トラックで、第一言語を選ぶことはできません。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次中国語）	－	－	－	－	入学を希望する言語トラックで、第一言語を選ぶことはできません。
上記以外の言語	日本語	○	△	－	－	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	－	－	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	△	△	○※1	－	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 ※1中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次英語）	△	○	－	○※2	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。 ※2韓国語未習者の場合は、韓国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次中国語）	△	△	○※1	○※2	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 ※1中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。 ※2韓国語未習者の場合は、韓国語による面接は免除します。

＊「第一言語」とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

! 面接で使用する言語は、上記の表に基づきますが、日本語が第一言語でない場合は、入学後に学修を希望する主たる言語のほか、必要に応じて日本語・英語・中国語のうち1つか2つの言語でも面接を行うことがあります。

6 芸術文化学群の審査方法

重要

芸術文化学群の審査内容は、専修・審査方式・実施方法によって異なります。志願者は、各専修の審査内容をよく確認し、インターネット出願時に審査方式（「実技型」・「作品審査型」または「課題図書型」）および実施方法（「キャンパス」または「オンライン」）を選択した上で準備をするようにしてください。

面接および実技型・作品審査型の観点＜キャンパス、オンライン受験共通＞

（1）面接の観点

- ①文化、言語、音楽、演劇、造形デザイン、映像の分野に強い関心を持ち、さらに大学の4年間の学修活動で高めていきたいという意欲（学力形成力）が感じられるか。
- ②多様な芸術文化に触れることで、表現力や思考力等を専門的に身につけたいと考えているか。

（2）実技審査の観点

【演劇・ダンス専修】

- ①出会った人とコミュニケーションを取りながら課題に取り組むことができるか。
- ②与えられた課題に対して、自分なりに表現することができるか。
- ③課題に取り組む姿勢、向き合う意欲や基礎的な身体能力があるか。
- ④演劇、ダンス、ミュージカル等のパフォーミングアーツに対して熱意を持っているか。

【音楽専修】

- ①試験曲に十分な時間をかけて、丁寧に準備した形跡があるか。
- ②音楽に対する意欲が感じられるか。

【ビジュアル・アーツ専修】

- ①情熱を持って作品を制作しているか。
- ②豊かな感性、表現力が感じられるか。
- ③基礎的な造形力が感じられるか。

① キャンパス受験

専修	審査方式	審査内容	公募制	指定校制
演劇・ダンス	実技型（いずれかを選択）	演劇審査 [実技と面接]：グループ構成による課題への集団創作と発表を行い、その後、オーディション形式でのグループ面接を実施します。 ※審査にあたり動きやすい服装と上履き（スニーカーなど）をご持参ください。	○	実技審査は実施しません。
		ダンス審査 [実技と面接]：集団でのワークショップ形式による実技審査を行います。その場で提示される短い振付を通して、踊りに向き合う意欲と基礎的な身体能力を評価します。実技審査後、個別面接を行います。 ※審査時は原則として裸足で、動きやすい服装を着用してください。		
		ミュージカル審査 [実技と面接]：集団ミュージカル・ワークショップ形式の実技審査に加え、個別の歌唱審査（3分程度）と個別面接を行います。自由に選択した1曲（ミュージカル楽曲推奨）を歌唱します。 ・音源について 伴奏音源データ（スマートフォン、タブレット、PC）をご持参ください。Type-C、Lightning、ステレオミニプラグは用意してあります。またBluetooth接続もできます。		
	課題図書型	課題図書をもとに面接審査（約15分）	○	○
音楽	実技型	声楽、ミュージカル（歌）、ジャズ・ポピュラー（ヴォーカル、各楽器）ピアノ、管楽器、打楽器、弦楽器（撥弦楽器を含む）のいずれかを選び、任意の一曲を演奏していただきます。その後、面接を行います。 大学で用意する楽器はピアノ、コントラバス、パイプオルガン、ハープ、マリンバ、ドラムセットです（ピアノ以外は要予約）。その他の楽器はご自身でご持参ください。伴奏者の同伴、または伴奏としての音源データ（スマートフォン、タブレット）の持ち込みが可能です。楽器演奏ではなく作曲等の分野で実技を希望する方は、ご自身で作曲した音楽作品（約5分程度）のサウンドファイルとその楽譜をご持参いただくことで、演奏審査に代えることができます。 審査時間は実技審査と面接を合わせて約15分です。	○	実技審査は実施しません。
	課題図書型	課題図書をもとに面接審査（約15分）	○	○
ビジュアル・アーツ	作品審査型	試験当日、ご自身で制作した作品一点（美術、デザイン、工芸、服飾、写真、マンガ、映像、アニメーションなど）をご持参ください。作品審査では、制作意図、制作にあたり調べたこと、技法的な工夫などについて3～5分程度のプレゼンテーションを行っていただき、その後、面接を行います。映像、アニメーション作品などの収録時間は3分以内とし、再生用のPCはご自身でご持参ください。補足資料として、その他の作品をまとめたポートフォリオの持参も可能です。 審査時間は作品審査と面接を合わせて約15分です。	○	実技審査は実施しません。
	課題図書型	課題図書をもとに面接審査（約15分）	○	○



志願者が一定の人数に達しない場合は、審査内容を一部変更する場合があります。変更する場合には事前に連絡します。

面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。ただし、演劇の「実技型」におけるグループ面接は受験者複数、面接担当者2人で実施します。

② オンライン受験

専修	審査方式	公募制	指定校制
演劇・ダンス	実技型	実技審査は実施しません。	実技審査は実施しません。
	課題図書型	課題図書をもとにオンライン面接審査（約15分）	
音楽	実技型	声楽、ミュージカル（歌）、ピアノ、管楽器、打楽器、弦楽器（撥弦楽器を含む）のいずれかを選び任意の一曲を演奏したものを動画収録しデータを事前提出する。試験当日はオンライン面接（約15分）。	実技審査は実施しません。
	課題図書型	課題図書をもとにオンライン面接審査（約15分）	
ビジュアル・アーツ	作品審査型	自分の制作した作品一点および補足資料をデータにて事前提出する。試験当日の作品審査では、補足資料を用いて制作意図、制作にあたり調べたこと、技法的工夫などについて3～5分のプレゼンテーションを行い、その後面接。作品審査と面接合わせて約15分。	実技審査は実施しません。
	課題図書型	課題図書をもとにオンライン面接審査（約15分）	

■ オンライン受験の事前提出課題と提出期間

専修	審査方式	事前提出する動画・作品提出要領	提出期間
演劇・ダンス	実技型	事前提出課題はありません。	
	課題図書型	事前提出課題はありません。	
音楽	実技型	[事前提出動画について] ・演奏時間は5分以内。 ・志願者ははじめにカメラに向かって正面に立ち、所属校等、氏名、演奏曲目を述べた後、演奏を始めること。 ・演奏中は志願者の前方、斜め前方又は側方より収録し、全身が収まるようにすること。 ・収録開始から終了までノンストップで収録し、動画に加工や編集は行わないでください。	11月1日（日）～ 11月10日（火）
	課題図書型	事前提出課題はありません。	

専修	審査方式	事前提出する動画・作品提出要領	提出期間
ビジュアル・ アート	作品審査型	[事前提出作品および補足資料について] A) 物理的な作品（平面・立体）を提出する場合 ①提出作品＝作品の全体像等を写真データとして事前提出。試験当日はオンライン上で作品現物を映すこと。 ②補足資料＝①で提出する写真データ以外の異なる角度/こだわった細部の鮮明な写真等の写真データの事前提出（合計3点以上）。 B) 映像・動画作品を提出する場合 ①提出作品＝動画3分以内 ②補足資料＝制作時のことを映像・画像・文章などでまとめたワークレポート [作業報告書] C) WEBデザインを作品として提出する場合（SNS等は不可） ①提出作品＝URLにて示す ②補足資料＝主要ページのキャプチャ画像	11月1日（日）～ 11月10日（火）
	課題図書型	事前提出課題はありません。	

事前提出する動画・作品の提出方法について

出願登録後、出願完了メールを送信します。そのメールに動画・作品提出方法をお知らせしますので、上記の事前提出する動画・作品提出要領に沿って、データをアップロードしてください。

面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。

インターネット出願完了後に、志望する専修および審査方式を変更することはできません。

III 出願手続

1 出願上の注意事項

一度提出された書類および納入された検定料は、原則として返還しません。ただし、以下のケースに該当する場合は、検定料に限り返金にかかる手数料を差し引いた金額を返還します。選抜ごとに定められた期限までに手続きを行う必要があります。

- ① 検定料を支払ったが、出願期間内に書類を提出しなかった
- ② 検定料を支払い、書類を提出したが、書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が完了しなかった
- ③ 検定料を支払った後に出願内容の変更希望が生じ、改めて出願し直した場合における、最初に出願した分の検定料（ただし、出願期間終了後は、出願内容の変更はできません）

【検定料返還の手続き方法】

対象者には受験票発行開始日以降、インターネット出願サイトの「マイページ」に「検定料返還申請」ボタンが表示されます（受験票発行開始日から1週間程度かかることがあります）。検定料返還の手続きをする方は、「マイページ」の諸注意事項をよく読み、以下の申請期限までに手続きを行ってください。申請期限後の申し出については返還しません。

【検定料返還申請期限】

選抜	申請期限
学校推薦型選抜（指定校制・公募制）	2026年12月4日（金）
指定校制学校推薦型選抜（航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コース）	2026年12月4日（金）
国際学生選抜、社会人選抜、編入学者選抜、学校推薦型選抜（指定校制）（第2回）、総合型選抜（第3回）	2027年1月7日（木）

※申請期限を過ぎた場合はいかなる理由においても検定料の返還はできません。

【検定料の返還時期】

入学辞退申請完了後、約1ヵ月でご指定の金融機関へ振り込みます。

- 出願後に、以下を変更することはできません。

志望学群もしくは選抜方式（全学群）、領域（リベラルアーツ学群）、入学後に学修を希望する主たる言語トラック（グローバル・コミュニケーション学群）、専攻（健康福祉学群）、専修（芸術文化学群）、コース（航空学群）。

出願時に間違いがないことを必ず確認してください。

2 検定料について

■ 検定料について

検定料は以下の通りです。

- リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群、芸術文化学群、教育探究科学群、航空学群3コース

検定料35,000円

- 航空学群 フライト・オペレーション（パイロット養成）コース

検定料70,000円

検定料の支払いは、以下の2つの支払い方法により、インターネットで出願する際に選択してください。なお、検定料のほかに事務手数料が別途かかります。

①指定のコンビニエンスストアでの支払い

②クレジットカードを利用しての支払い

※一度納入された検定料は返金できません。

3 受験票

- インターネット出願サイトの「マイページ」で「受験票」を発行日時以降、順次発行します。
- 「受験票」は印刷ボタンより印刷し、試験当日に提示できるように準備してください（A4サイズ推奨）。また、集合時間等の詳細は受験票で確認してください。携帯電話等の画面を使用しての受験票の提示は認めません。
- 試験日時の変更はいかなる理由があっても応じません。

4 試験当日の注意事項

■ キャンパスで受験する方

- 自宅等で「受験票」を印刷し、試験当日に必ず持参してください。
- 町田キャンパスの受験者及びその他のキャンパスでの受験者は、会場ごとに本学スタッフの指示に従ってください。
- 集合時間までに予め指定された控室もしくは試験室に入り、指定された座席に着席してください。出欠の確認をとり、受験上の注意を伝達します。集合時間に遅れると受験に支障をきたしますので、十分注意してください。
- 面接・実技審査は集合時間から30分以上経過した場合、筆記試験は集合時間から50分以上経過した場合は原則受験することができません。不測の事態により、遅刻の恐れがある場合は、受験票に記載されている電話番号に連絡をし、担当者の指示に従ってください。
- 試験当日、試験場付近や下駅にて下宿・アパート等の勧誘をしている場合がありますが、本学と一切関係はありませんので注意してください。

■ オンラインで受験する方

- 自宅等で「受験票」を印刷し、試験当日に必ず手元に準備してください。
- オンライン面接試験事前接続テストと同じ環境で受験してください。（同じ部屋・パソコン等環境の確保）
- 受験環境の不備により試験に不具合が生じた場合は、試験が認められない可能性があります。十分な準備をした上で、受験してください。
- 試験中は、バーチャル（仮想）背景は使用しないでください。
- 不正防止の為、試験中の様子は録画しますので、予めご了承ください。
- 受験する環境（部屋）に、受験する本人以外の方が在室しないようにしてください。

- 試験途中での入退室はできません。
 - 試験中、面接者が指示する以外のパソコン操作（インターネット検索等）は行わないでください。
 - 試験に利用するパソコン（スマートフォン）および筆記用具以外の不正行為につながる恐れのあるもの（電子機器等）は持ち込まないでください。
 - 試験内容の記録（録画や録音、メモ等）や、SNSでの発信等は行わないでください。
 - その他、不正行為に該当するような行為は行わないでください。
 - 試験当日、または後日、上記に違反するような事案が判明した場合（SNSでの発信等を含む）には、合格した場合であっても不合格となる可能性があります。
- ※ その他、オンライン面接に伴う事前準備事項および試験当日の諸注意事項については、本要項の記載および出願時にご案内する情報を確認してください。

5 受験時および修学時に特別な配慮や支援が必要な方

桜美林大学では、障害者差別解消法に基づき、入試および大学生活における障壁を取り除く「合理的配慮」を提供しています。

受験時および修学時に合理的配慮を希望する受験生は、出願期間前に以下のフォームより申請を行ってください。

<https://forms.gle/kY8U8kZ6t4pXB1Sx9>

■ 申請期限

申請期限は受験を希望される選抜方式の出願開始日の一か月前までとなっています。

選 抜	申請期限
学校推薦型選抜第1回（公募制、指定校制）	2026年10月1日（木）
学校推薦型選抜第2回（指定校制）	2026年10月19日（月）

申請期限日以降の申請は原則受け付けませんが、期限後に発症した場合などはお問い合わせください。

また、事前相談なく受験して、合格・入学後に配慮・支援の申し出があった場合は、配慮・支援の対応ができないことがあります。

卒業要件に係る授業の履修が困難になり、卒業が難しくなる可能性もありますので、配慮・支援を希望される場合は必ず事前にご相談ください。

6 出願書類の作成における生成AIの利用について

桜美林大学の学校推薦型選抜は、「学而事人（学んだことを人や社会のために役立てる）」という建学の精神のもと、受験生一人ひとりの「これまで」と「これから」を大切にしています。生成AI利用の有無に関わらず、あなたが高校時代に経験し、考えてきたこと、そして本学での学びへの意欲を、提出された書類と面接考査等によって総合的に評価します。

生成AIの利用に関する基本方針

本学は、出願書類の作成において生成AIの利用を一律に制限していません。技術の発展を踏まえ、受験生の皆さんの判断に委ねています。

ただし、本学が最も重視するのは、あなた自身が高校時代に経験し、考えてきたことです。提出される書類は、必ずあなた自身の言葉で、あなた自身の経験と考えを表現したものでなければなりません。生成AIが作成した文章や内容をそのまま使用することは認められません。

重要な留意事項

生成AIに過度に依存すると、以下のような問題が生じる可能性があります：

- ・ あなた自身の経験や考えを十分に表現できない
- ・ 面接での質問に対して、書類と一貫した回答ができない
- ・ 本学のアドミSSIONポリシー/カリキュラムとの適合性を適切に示せない

本学の学校推薦型選抜では、書類と面接を総合的に評価します。書類に書かれた内容について、面接で深くお聞きします。

■生成AI利用に関する具体的なガイダンス

適切な活用の例

生成AIは、以下のような用途であれば、あなたの表現を補助するツールとして機能するかもしれません。

- ・ 文章の誤字脱字や文法の確認
- ・ 構成やアイデアの整理のための対話
- ・ 異なる表現方法の検討

不適切な使用の例

以下のような使用は認められません。

- ・ 生成AIに質問や課題を入力し、出力された文章をそのまま、またはわずかな修正のみで提出する
- ・ 自分が経験していない内容や、考えていない意見を生成AIに作成させ、自分のものとして提出する
- ・ 他人の経験や考えを生成AIで加工し、自分のものとして提出する

よくある質問

Q1: 生成AIを書類作成に利用してもよいですか？

A1: 書類作成において、生成AIの利用を一律に制限していません。最終的な内容が、あなた自身の経験と考えを正確に表現しているかが重要です。生成AIの出力を参考にする自体は問題ありませんが、提出する文章は、必ずあなた自身が内容を十分に理解し、自分の言葉で表現したものでなければなりません。

Q2: 生成AIの使用を申告する必要はありますか？

A2: 申告は不要です。本学が評価するのは、提出された書類があなた自身の経験と考えを適切に表現しているかどうかです。面接では、書類の内容について具体的にお聞きします。

Q3: 英語の文章を生成AIで確認することは可能ですか？

A3: 文法や表現の確認は問題ありません。ただし、内容はあなた自身の考えでなければなりません。

Q4: どの程度まで生成AIを使用してよいか、明確な基準はありますか？

A4: 明確な線引きは困難ですが、判断の基準は「あなた自身が書いた」と自信を持って言えるかどうかです。面接で書類の内容について質問された際に、あなた自身の言葉で説明できる内容であることが重要です。本学は、出願書類の作成において生成AIの利用を一律に制限していません。技術の発展を踏まえ、受験生の皆さんの判断に委ねています。

参考資料

桜美林大学は「学生の生成AI利活用に関する基本方針」を公開しています。本学における生成AIとの向き合い方について、より詳しく知りたい方は、以下をご参照ください。

桜美林大学 学生の生成AI利活用に関する基本方針 (https://www.obirin.ac.jp/about/ai_guideline.html)

IV 合否照会・入学手続

1 合否照会・合格通知

インターネット出願サイトの「マイページ」にログインし、「合否照会」ボタンをクリックしてください。合否結果が表示されます。

合否については、上記の方法で確認してください。合否の理由等も含め電話やメールでの問い合わせには、一切回答できません。

合否照会は合格発表日の午前10時より確認できます。

「合格通知」は合格者のみ、合格発表日の13時から確認することが可能です。

インターネット出願サイトの「マイページ」にログインして印刷し、入学手続き（学納金の納入）をしてください。

合格通知の郵送はしませんので、注意してください。

2 入学手続等（学納金の納入について）

- 「合格通知」とともに表示される案内を基に、「入学金支払システム」から納入してください。合格発表日の13時より「合格通知」および「入学金支払システムの案内」が確認可能になります。納入期限までに入学金と春学期分の授業料等を、銀行振込にて納入してください。個別の入金確認は行っていません。
- 期限内に前項の納入がない場合は、入学の意思がないものとみなします。また、期限後の振込はいかなる理由でも一切受け付けません。
- 大学より「入学関係書類」の案内メールを受信したら、「マイページ」にログインして書類を確認してください。案内は該当者全員へ一斉に行うため、入学手続を早く完了しても案内が早く届くことはありません。「メール受信時期」に関する問い合わせには応じかねます。
- 「入学関係書類」記載の期日までに、必ず卒業証明書を提出してください。既卒者等は、「入学関係書類」の内容に従って書類を提出してください。

■ 入学辞退について

学納金の納入後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合はインターネット出願サイトの「マイページ」より所定の手続を行い、受理された場合、入学金および返金にかかる手数料を差し引いた納入金を返金します。いかなる理由でも入学金の返金はありません。

[返還の対象となる選抜]

総合型選抜（併願）、公募制学校推薦型選抜（併願推薦）、国際学生選抜、社会人選抜、編入学者選抜、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

[入学辞退申請期限]

2027年3月31日（水）15：00までにインターネット出願サイトの「マイページ」にて手続きを完了してください。

※申請期限を過ぎた場合はいかなる理由においても入学辞退の受理および学納金の返還はできません。

※入学辞退の申請を完了した場合はいかなる理由においても入学辞退の申請を撤回することはできません。

[学納金の返還時期]

入学辞退申請完了後、約1ヶ月でご指定の金融機関へ振り込みます。

3 入学後の渡航に関する注意事項

航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コースは、米国での飛行訓練が行われます。外国籍の方のビザ（M1ビザ）取得の可否に関しては、事前に必ず「米国大使館又は領事館」まで問い合わせてください。

4 学納金

2027年度入学学納金一覧

■ リベラルアーツ学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	482,000円	25,000円	150,000円	—	807,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,464,000円
2年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
3年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
4年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	707,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,364,000円

■ グローバル・コミュニケーション学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	482,000円	25,000円	150,000円	—	807,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,464,000円
2年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
3年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
4年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	707,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,364,000円

※2年次に実施する1学期間の海外留学が原則必須です。留学にかかる費用は別途必要です。

※日本語トラックおよびトリリンガルトラックの留学は任意です。

■ ビジネスマネジメント学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	482,000円	25,000円	150,000円	—	807,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,464,000円
2年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
3年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
4年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	707,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,364,000円

※エアラインホスピタリティ留学にかかる費用は別途必要です。

※「実習・演習科目」については別途費用がかかる場合があります。

■ 健康福祉学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	542,000円	25,000円	150,000円	—	867,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,584,000円
2年次	—	542,000円	25,000円	150,000円	—	717,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,434,000円
3年次	—	542,000円	25,000円	150,000円	—	717,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,434,000円
4年次	—	542,000円	25,000円	150,000円	50,000円	767,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,484,000円

■ 芸術文化学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	582,000円	25,000円	150,000円	—	907,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,664,000円
2年次	—	582,000円	25,000円	150,000円	—	757,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,514,000円
3年次	—	582,000円	25,000円	150,000円	—	757,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,514,000円
4年次	—	582,000円	25,000円	150,000円	50,000円	807,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,564,000円

■ 教育探究科学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	515,000円	25,000円	150,000円	—	840,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,530,000円
2年次	—	515,000円	25,000円	150,000円	—	690,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,380,000円
3年次	—	515,000円	25,000円	150,000円	—	690,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,380,000円
4年次	—	515,000円	25,000円	150,000円	50,000円	740,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,430,000円

■ 航空学群 航空管制コース 航空機管理コース 空港管理コース

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	627,000円	25,000円	150,000円	—	952,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,754,000円
2年次	—	627,000円	25,000円	150,000円	—	802,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,604,000円
3年次	—	627,000円	25,000円	150,000円	—	802,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,604,000円
4年次	—	627,000円	25,000円	150,000円	50,000円	852,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,654,000円

※ 航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コースは別途海外研修費用として約2,300,000円が必要となります。なお、物価や為替レートの変動等により費用が変更になる場合があります。

■ 航空学群 フライト・オペレーション（パイロット養成）コース

項目	春学期							秋学期					年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	実験実習費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	—	1,552,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	1,402,000円	2,954,000円
2年次	—	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	—	1,402,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	1,402,000円	2,804,000円
3年次	—	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	—	1,402,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	1,402,000円	2,804,000円
4年次	—	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	50,000円	1,452,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	1,402,000円	2,854,000円

※上記のほか、FAA・JCABライセンス取得のための訓練費が必要となります。〈参考〉訓練費：約20,000,000円（2026年度）

訓練費は学納金とは別に大学で定めた回数・期日に基づき納入いただきます。個人の訓練の進捗によっては追加で訓練費が発生する場合があります。なお、訓練費は、物価・航空燃料費上昇、為替レートの変動やカリキュラム編成の変更等により変更になる場合があります。

- ・FAA（Federal Aviation Administration）：米国連邦航空局
- ・JCAB（Japan Civil Aviation Bureau）：国土交通省航空局

※訓練地や飛行訓練内容は変更となる場合があります。

【全学群共通】

※教職課程を履修する方は学納金のほかに別途費用が必要となります。そのほか、資格の取得に別途費用が必要となる場合があります。

※履修する科目によっては別途教材費等が必要となります。

V その他

1 個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続にあたって提出していただいた個人情報は、入学試験、合格発表、入学手続およびこれらに付随する事項を行うために利用します。また、これらの業務の一部を本学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、指定した業者に対して提出していただいた個人情報を提供することがあります。また、個人が特定されないように統計処理した情報を、本学における入学者選抜および教育改善のための調査に利用します。

2 入学前教育のご案内

桜美林大学では、合格された皆さんが入学後の学びをスムーズにスタートできるよう、入学前教育を実施しています。高校までの学びと大学での学びをつなぎ、主体的に学ぶ力の土台をつくることを目的に、学群ごとに特色あるプログラムを用意しています。ぜひ積極的に受講し、自信をもって入学の日を迎えてください。内容・申込方法は合格後にご案内します。

3 奨学金制度

本学には、学生の経済的基盤を整え、学業継続の機会を保障するために、以下のような奨学金制度があります。制度の詳細は受験生サイトで確認してください。（奨学生の推薦、選考は学力および家計状況等を基に行います）

1. 入学後に申込可能な奨学金

全学群対象

●学而事人奨学金 募集人数各学年最大6人

学業成績が優秀であるにもかかわらず、経済的理由で学業継続が困難な学生に対して授業料45%の減免支援を行います。

※高等教育修学支援新制度との併用はできません。

※航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コースは本奨学金の対象外です。

※その他の学内奨学金との併給はできません（ただし、学群奨学金、研究科奨学金および災害による緊急の支援金等はこの限りではありません）。

●学業優秀者奨学金 募集人数69人（2～4年次生）／給付

学士課程2～4年次生が対象で、在学中の学業成績が特に優秀な学生に対して、各学年23人、1人につき20万円を給付します。他の学内奨学金との併給はできません。

●独立行政法人日本学生支援機構奨学金／給付・貸与

人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学に困難な学生を対象とした、学生本人名義の奨学金です。

●地方公共団体・民間育英団体奨学金

募集は大学を通じて行うものと各団体が直接行うものがあります。大学に募集案内があった場合は、学内掲示板にてお知らせします。

●文部科学省外国人留学生学習奨励費

留学ビザの学生を対象に文部科学省が実施する奨学金制度です。月額48,000円で、受給期間は1年間もしくは半年です。

フライト・オペレーション（パイロット養成）コースのみ対象

●操縦士養成奨学金／給付

本学が定める家計基準（JASSO（日本学生支援機構）の貸与奨学金の第一種の世帯収入・所得上限相当）および成績基準等に基づき、該当する受給希望者に対して、2年次秋学期以降の学納金から60万円ずつを5セメスターに分けて減免します。（合計300万円、最大10名）

●（一社）航空機操縦士育英会「未来のパイロット」奨学金／貸与

貸与額：500万円を2年次に納入する訓練費から減免します。（最大5名）

※本奨学金希望者は、入学前の審査があります（入学後の応募は不可）。

詳細は本学ホームページよりご確認ください。

2. 提携教育ローン制度

●桜美林大学提携教育ローン

① オリエントコーポレーション「学費サポートプラン」 株式会社オリエントコーポレーション提携の入学金・学納金等を立替払いとする融資制度です。

② ジャックスの教育ローン 株式会社ジャックス提携の入学金・学納金等を立替払いとする融資制度です。

③ 三井住友銀行提携教育ローン 三井住友銀行提携の一般の教育ローンより有利な条件を設定した融資制度です。

●日本政策金融公庫（国の教育ローン）

国が行っている入学金・学納金等を立て替え払いとする融資制度です。

3. 高等教育修学支援新制度（本学は同制度の対象校として認定を受けています）

進学意欲がありながらも、経済的理由で進学が困難な学生へ、給付奨学金と授業料減免の支援が受けられる制度です。同制度の支援要件や選考基準等詳細については、学生課にお問い合わせください。

なお、高等教育修学支援新制度の採用候補者であっても各入学者選抜における入学手続きに伴う学納金は、入学手続締切日までに全額納付してください。入学後、所定の手続きを完了し、採用決定者であることが確認できた者に対し、減免金額を還付します。

■ 奨学金制度等についての問い合わせ先

● 学生部学生課（TEL：042-797-3128 メール：shogaku@obirin.ac.jp 平日／9：00～17：00）

● フライト・オペレーション（パイロット養成）コース在籍学生のみ対象奨学金は多摩キャンパス（多摩アカデミーヒルズ）事務室（TEL：042-356-6522平日/9：00～17：00）までお問い合わせください。

※ 文部科学省外国人留学生学習奨励費は国際部（TEL：042-797-5419 Email：inbound@obirin.ac.jp 平日/9：00～17：00）まで問合せください。

4 入学後に主に通うキャンパスについて

■ キャンパス一覧

学群	入学後に主に通うキャンパス
リベラルアーツ学群	町田キャンパス
グローバル・コミュニケーション学群	町田キャンパス
ビジネスマネジメント学群	新宿キャンパス

学群	入学後に主に通うキャンパス
健康福祉学群	町田キャンパス
芸術文化学群	東京ひなたやまキャンパス
教育探究科学群	相模原キャンパス
航空学群	多摩キャンパス（多摩アカデミーヒルズ）

各キャンパスへのアクセスは、本学ホームページ（<https://www.obirin.ac.jp/access/>）をご確認ください。

※ 航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コースの学生は、多摩キャンパス（多摩アカデミーヒルズ）にて履修中は全員入寮することになります。詳細は入学関係書類で確認してください。

【様式1】

(※大学使用欄) 受験番号：

フリガナ	
氏名 (NAME)	

志願者経歴書

※卒業見込の場合は出願時の在学期間と在学年数を入力。学校所在地は都道府県名、国外の場合は国、州省名を入力。

高等学校入学以降を入力してください。

外国の高等学校出身者、国際学生選抜志願者は小学校入学以降を入力してください。

学校名	所在地	在学期間(西暦)	在学年数 ※自動計算
		年 月～ 年 月	年 か月
		年 月～ 年 月	年 か月
		年 月～ 年 月	年 か月
		年 月～ 年 月	年 か月
		年 月～ 年 月	年 か月
		年 月～ 年 月	年 か月

高等学校卒業後の学歴(大学・予備校・語学学校・各種専門学校等)や職歴・兵役等を入力してください。

学校名または勤務先	所在地	期間(西暦)	内容
		年 月～ 年 月	
		年 月～ 年 月	
		年 月～ 年 月	
		年 月～ 年 月	

外国の高等学校出身者は日本語の学習歴(高等学校等の課程や独習を含む)を入力してください。

学校名	1 週間の修学時間	レベル
	時間／週	初 ・ 中 ・ 上
	時間／週	初 ・ 中 ・ 上
	時間／週	初 ・ 中 ・ 上

フリガナ

氏名 (NAME)

注1：週に何時間活動しているかを入力してください。 注2：年に何週間活動しているかを入力してください。

各種競技・コンクール・展覧会・懸賞論文等参加歴（実績内容と重複入力可）

西暦年	月	年齢	競技・コンクール等名称	主催機関	成績結果・公式記録	資料番号

【追加記入欄】

役割とポジション（フォワード、ピアノ担当、ソプラノ）、あなたの参加・出場状況（年間出場試合数、出場時間など）具体的な記録（タイム、得点、順位、など）

資格・検定・段位等の取得（実績内容と重複入力可）

西暦年	月	年齢	資格等の名称	資格級位	資格認定機関名	資料番号

【芸術文化学群への出願者のみ入力してください】

興味のあるアーティスト・クリエイター・パフォーマーなど

アーティスト名		代表作品
理由		
アーティスト名		代表作品
理由		
アーティスト名		代表作品
理由		

[様式4]

フリガナ

氏名 (NAME)

志望理由書

学群の志望理由を入力してください。その際、本学での学修を通じてどのように成長し、将来、どのように社会に貢献したいのかについても入力してください。

受験する選抜・使用言語ごとに指定の文字数が異なります。

總合型選拔：基礎力評價方式	(日本語) 300字以上400字以内	(英語) 150語以上200語以内
國際學生選拔	(日本語) 500字以上600字以内	(英語) 250語以上300語以内
學校推薦型選拔、社會人選拔、編入學者選拔（2年次編入）	(日本語) 600字以上800字以内	(英語) 300語以上400語以内

*グローバル・コミュニケーション学群の志願者のみ、英語で入力することができます。

U
A
M
P
L

200

400

600

800

[様式5]

フリガナ

氏名 (NAME)

読書レポート

学群ごとに指定された課題図書の内容を要約したうえで、特に印象に残った点に触れながら、あなた自身の考えを入力してください。

*600字以上800字以内（日本語）で入力してください。 *グローバル・コミュニケーション学群の志願者は、選択した本が書かれている言語で入力してください（英語の場合300語以上400語以内）。

課題図書名

U
A
M
P
L

200

400

600

800

桜美林大学長 殿

学校長名

桜美林大学学校推薦型選抜の志願者として、以下の者を推薦します。

志望学群	学群
領域、専攻、 専修、コース	
フリガナ	
氏 名	

(推薦理由) ※学力の三要素を踏まえた推薦理由等を記載してください。

[illegible]

全国大学推薦書標準様式



様式9

(航空学群 フライト・オペレーション
(パイロット養成) コースのみ)

(※大学使用欄) 受験番号:

フリガナ

氏名 (NAME)

桜美林大学

航空身体検査

年 月 日

1 氏名

2 住所 郵便番号

3 本籍 (外国人にあっては国籍)

4 生年月日

5 年齢

6 性別

7 総飛行時間

8 過去6月間の総飛行時間

9 既往歴等 各項目毎に該当の有無を○印で記入すること。

病名等	有	無	病名等	有	無	病名等	有	無
糖尿病			直腸・肛門の疾患 (痔等)			てんかん又は痙攣 (けいれん)		
内分泌及び代謝の疾患 (高脂血症、高尿酸血症等)			肝臓・胆道系の疾患			失神等の意識障害		
アレルギー疾患 (喘息・花粉症等)			腎臓・泌尿器・生殖器の疾患			頻繁又は強度の頭痛		
日中の過度な眠気又はいびきの指摘			関節、背部又は腰部の痛み			目の疾患		
呼吸器・肺の疾患			外傷			耳鼻咽喉の疾患		
胸痛、胸部圧迫感又は動悸			精神又は神経系の疾患			ふらつき又はめまい		
心臓の疾患			頭部外傷又は脳震盪 (のうしんとう)			治療を要する乗物酔い		
高血圧			自殺未遂			その他治療を要する疾患		
胃腸の疾患			薬物・アルコール依存					

10 該当するものがあればできるだけ詳細に記入すること (部位、原因、時期等)。

	有	無	詳 細
入院又は手術			
航空事故又はその他の事故			
航空身体検査不適合又は国土交通大臣による判定の結果等			
現在常用している医薬品 (外用・睡眠薬を含む)			
その他の参考事項			

私は、この申請書の記載事項が、私の知り得る限り、真正であることを誓います。

申請者署名

年 月 日

11 検査開始年月日										12 身長 cm					13 体重 Kg					14 BMI					15 尿検査				16 血圧 mmHg																																																																											
																									蛋白		糖		収縮期			拡張期																																																																								
17 遠見視力																									18 中距離視力																																																																															
裸眼視力										矯正視力					常用眼鏡 屈折度					右					左					矯正																																																																										
右										右					右					適合					不適合					適合					不適合					有					無																																																											
左										左					左																																																																																									
19 近見視力										20 両眼視機能															21 視野					22 色覚																																																																										
										矯正					斜視					不同視					輻湊近点mm					右					左																																																																					
右										有					有					有					深視力					□ 二杵					無					距離					正常					異常					正常					異常																																												
左																									mm					□ 三杵																																																																										
23 純音聴力															24 聴力										25 眼圧 mmHg																																																																															
															後方2m																																																																																									
右															適合										不適合										年										月										日										右										左																													
左																																			検査年月日																																																																					
26 安静時心電図検査										27 胸部エックス線検査										28 脳波検査																																																																																				
検査年月日										検査年月日										検査年月日																																																																																				
29 検診所見 各項目毎に正常・異常の所見を○印で記入するとともに、異常の所見については「30 医師記入欄」に詳細に記入すること。																																																																																																								
病名等										有					無					病名等										有					無					病名等										有					無																																																	
頭部、顔面及び頸部																				脊柱、筋及び骨格																				外耳・中耳（聴力は23-24項に記載）																																																																
呼吸器又は胸部（乳房を除く）																				皮膚又はリンパ系																				鼓膜（穿孔等）																																																																
心臓（心音・心雑音・不整脈等）																				精神系（行動、気分、コミュニケーション、記憶等）																				鼻、副鼻腔及び咽喉頭																																																																
脈管系（左右差、脈拍数等）																				神経系（脳神経、腱反射、平衡機能、感覚、協調運動等）																				口腔及び歯牙																																																																
腹部（ヘルニアを含む）																				眼（視力視野等は17項から22項までに記載）																				全身状態																																																																
腎・泌尿器・生殖器官																				眼球連動（共同運動、眼振等）																				その他																																																																
上下肢（筋力・可動域等）																																																																																																								
30 医師記入欄																																																																																																								
☐ 航空業務に支障をきたすような特記事項なし															桜美林大学より指定医療機関への連絡欄																																																																																									
☐ 第1種基準においても適合															左記30 医師記入欄の該当する項目にチェック（し点）をしてください																																																																																									
☐ 注意項目有り															また、注意項目がある場合は詳細を空白にご記入ください。																																																																																									
本書類は、桜美林大学受験においてのみ使用可である。																																																																																																								
31 適否の別																																																																																																								
☐ 第1種基準において適合																																																																																																								
☐ 第1種基準において不適合																																																																																																								
32 不適合の理由																																																																																																								
33 証明に付した条件										34 航空身体検査指定機関の名称及び代表者氏名										35 指定航空身体検査医の氏名																																																																																				
										印										印																																																																																				
航空身体検査指定機関指定番号										航空身体検査医指定番号																																																																																														

[様式11]

(※大学使用欄) 受験番号:

フリガナ

氏名 (NAME)

経費支弁書

桜美林大学長 殿

【申請者】

氏名: _____

国籍: _____

生年月日: _____年 _____月 _____日

【経費支弁者】

住所: 〒 _____

氏名: _____ 英字氏名: _____

申請者との関係: _____ 電話番号: _____

記入日: (西暦) _____年 _____月 _____日

私は、このたび上記申請者が日本国に入国した際および貴大学在学中の経費支弁者になりましたので、以下の通り経費支弁を引き受けた経緯を説明するとともに、経費支弁について誓約します。

1. 経費支弁を引き受けた経緯

(申請者の経費支弁を引き受けた経緯および申請者との関係について具体的に入力してください。)

2. 経費支弁内容

私は、申請者の日本国滞在について、以下のとおり経費を支弁することを証明します。また、申請者が在留期間更新許可申請を行う際には、送金証明書または本人名義の預金通帳（送金事実、経費支弁事実が記載されたもの）の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

経費の支弁方法等 (合計金額が1年間の学納金等を十分賄える金額となるように入力してください。)

支出元および月平均支弁額 ※該当する項目の□に✓を入れてください。	支弁方法
☐ 申請者 () 円	
☐ 経費支弁者 () 円	☐ 振込 ☐ 携行 ☐ 海外送金等
☐ その他 () 円	☐ 振込 ☐ 携行 ☐ 海外送金等
☐ 奨学金 () 円	☐ 振込 ☐ 携行 ☐ 海外送金等
(奨学金受給機関名) ※該当する項目の□に✓を入れてください。	
☐ 外国政府 ☐ 日本国政府 ☐ 地方公共団体 ()	
☐ 公益社団法人または公益財団法人 () ☐ その他 ()	